

(様式3)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	吉賀町立蔵木小学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1. 2	生活科	さつまいもをそだてよう わかばきちをつくろう	【ひと】蔵木公民館 地域の方 【もの】学校の裏庭 【こと】苗植え、芋ほり、基地づくり
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と一緒にくらぎフェスタで使うさつまいもをそだてよう。 ・地域の方に教えてもらって、自分たちの「わかばきち」を作ろう。 	
<p>1 取組の概要</p> <p>地域の方とペアになり、6月にさつまいもの苗植え、10月に芋ほりをした。収穫したさつまいもを使いさつまいもケーキを作って、お世話になった方にプレゼントした。また、地域の方にふかし芋を作ってもらって一緒に食べた。11月には地域の方とともに学校の裏庭の木にひもを括りつけてブルーシートの屋根を張ったり、竹を支柱にしてテントを張ったりして、自分たちだけの基地を作った。</p>			
<p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人とのつながりを密にし、故郷への愛着を深めるために、単発的な関わりではなく、年間を通した関わりとなるように意識した。 ・相手意識をもった関りができるようになるために、同じ人と年間を通して関わることにした。 ・地域との連携力を強めるために、公民館との連携を密にして、打ち合わせの段階からねらいを共有して、活動を考えた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力を高めるために、児童と地域の方がペアになって活動し、自分から関わる場面を多く作った。 ・表現力を高めるために、どんな基地にしたいのか、自分のイメージを絵や言葉で表して設計図を作ったり、地域の方へ説明したりすることで、自分の思いを表した。 			
<p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の顔を覚えられたことで、地域の活動に参加したいという意欲が高まった。 ・手紙やお菓子を喜んでもらえたことで、自己肯定感が高まった。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしがっていた児童も自分から進んで声をかけ、関われるようになった。 ・相手を意識した行動が増えた。 			
<p>4 課題や今後の展望</p> <p>今年度もコロナウイルス感染症対策のため、活動が制限されたり関わってくださる地域の方の人数の確保が難しかったりしたが、1, 2年生の人数も少なく、結果として、例年以上にしっかりとした関わりができたと思う。今後も公民館と連携し、活動の充実を図っていきたい。</p>			
			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)